



Smiles for the Public

2022年(令和4)3月期 第2四半期説明資料



TOA株式会社

将来の見通しについて

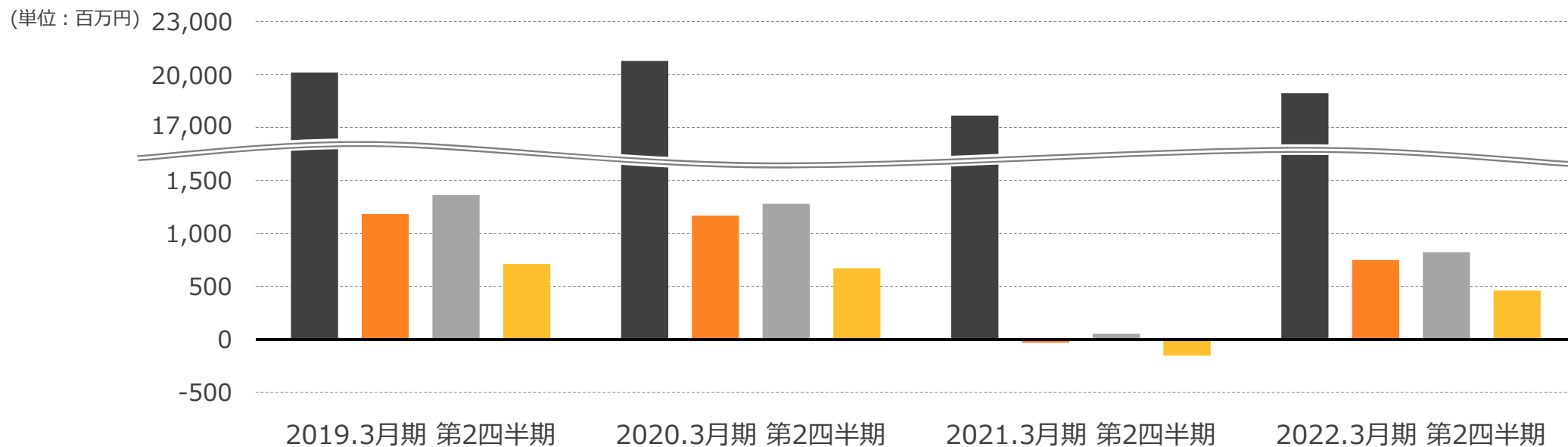
- 当社が開示する情報の中には将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、発表時点での情報に基づく予測であり、経済情勢等の変化によって大きく異なる結果となる場合があります。当社としましては、将来見通しの精度を高めるための努力をするとともに、見通しの変化が生じる場合には適宜開示いたします。
- 当社ホームページは投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断においておこなわれるようお願いいたします。
- 当情報の正確さや掲載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、なんらそれらの正確性を保証し、または責任を負うものではありませんのでご了承ください。

2022年3月期 第2四半期決算業績

2022年3月期 第2四半期業績の概況報告

- ・多くの地域において新型コロナウイルス感染症からの復調の兆しが見えているものの、一部地域では都市封鎖や経済活動制限が断続的に発生するなど回復の遅れも発生。
- ・第2四半期の業績に関しては、前年同期比で増収増益、計画に対しては売上は未達となったものの、利益は達成。
- ・世界の全セグメントにおいて前年同期比で増収増益。
国内においては、大型空港へのシステム納入のほか、教育市場向けが好調。
海外では、一部でコロナ禍による工期の遅延が発生したものの、アジア・パシフィックセグメントでは官公庁向け大型案件の納入が進んだほか、中国・東アジアセグメントでは台湾の工場市場向け売上が伸長。
全てのセグメントにおいて、教育市場に向けた取り組みを強化。
- ・通期の業績予想については、今年5月に公表した数値計画から変更なし。
引き続き、計画を着実に実行する。

2022年3月期 第2四半期の業績（連結）



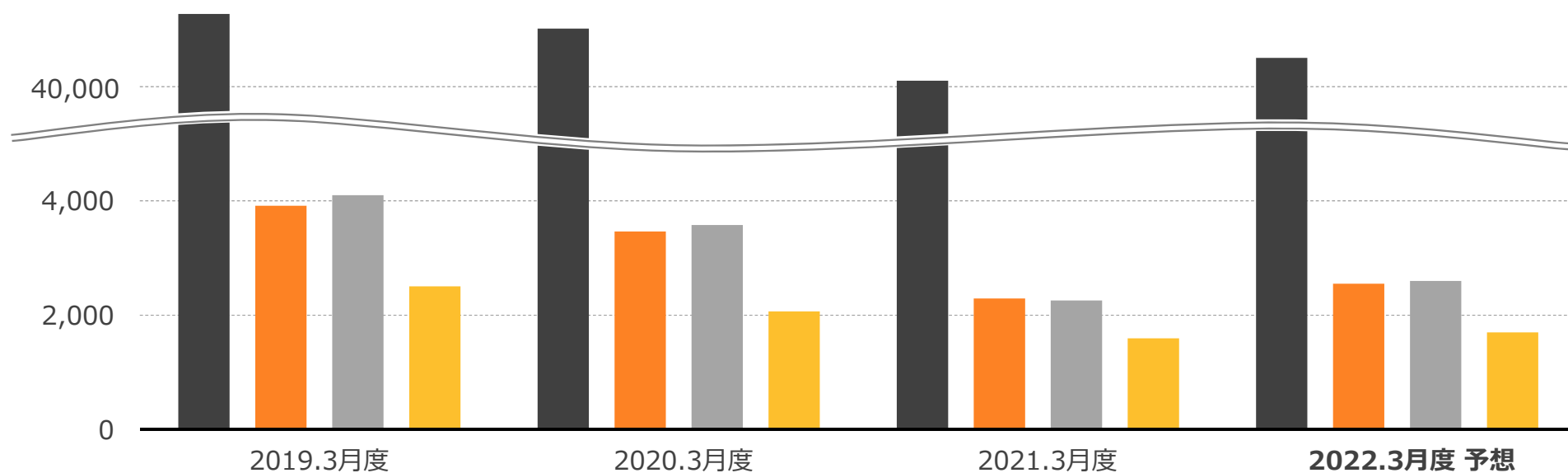
■ 売上高	20,113	20,766	17,666	18,937	(7.2%)
■ 営業利益	1,182	1,167	▲ 32	748	
■ 経常利益	1,362	1,278	53	822	(1439.5%)
■ 最終利益（注）	710	670	▲ 155	460	約14.4倍

(注) 親会社株主に帰属する四半期純利益

※%表示は前年比増減率

数値計画（連結）

(単位：百万円) 50,000



■ 売上高

46,338

45,068

40,575

42,000

■ 営業利益

3,903

3,465

2,293

2,550

■ 経常利益

4,099

3,577

2,558

2,600

■ 最終利益 (注)

2,504

2,065

1,596

1,700

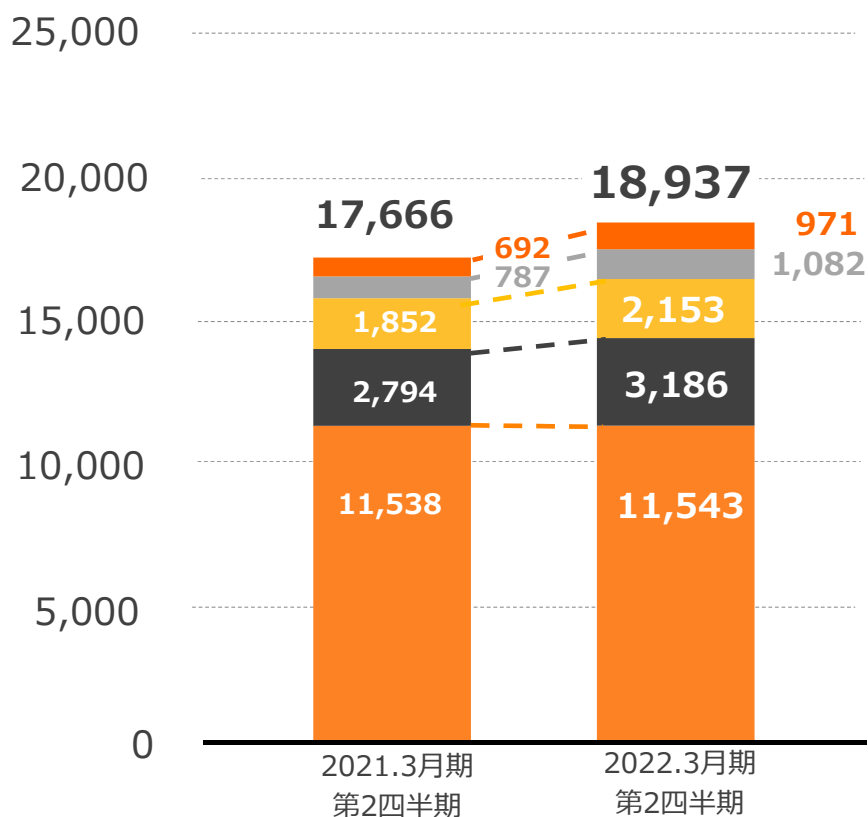
(注) 親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別実績並びに分野別実績

2022年3月期 第2四半期の業績 (セグメント別)

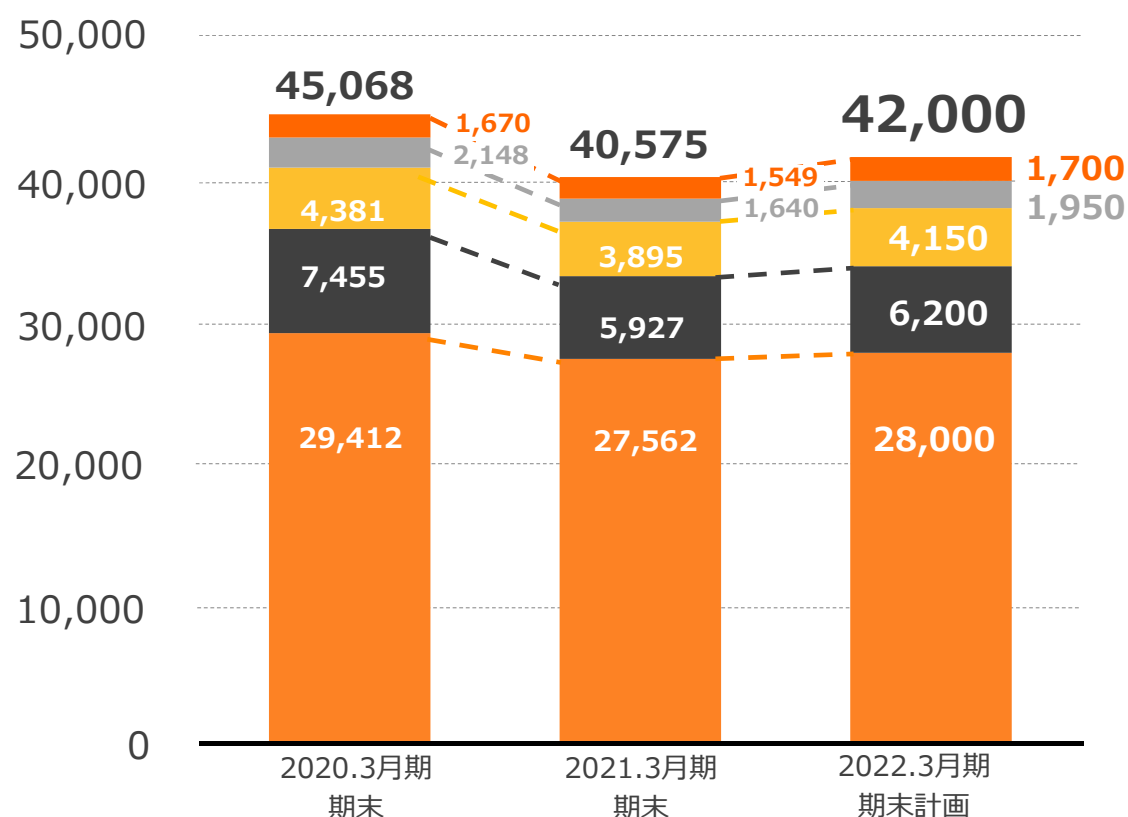
(単位：百万円)

第2四半期 実績



(単位：百万円)

年間数値計画

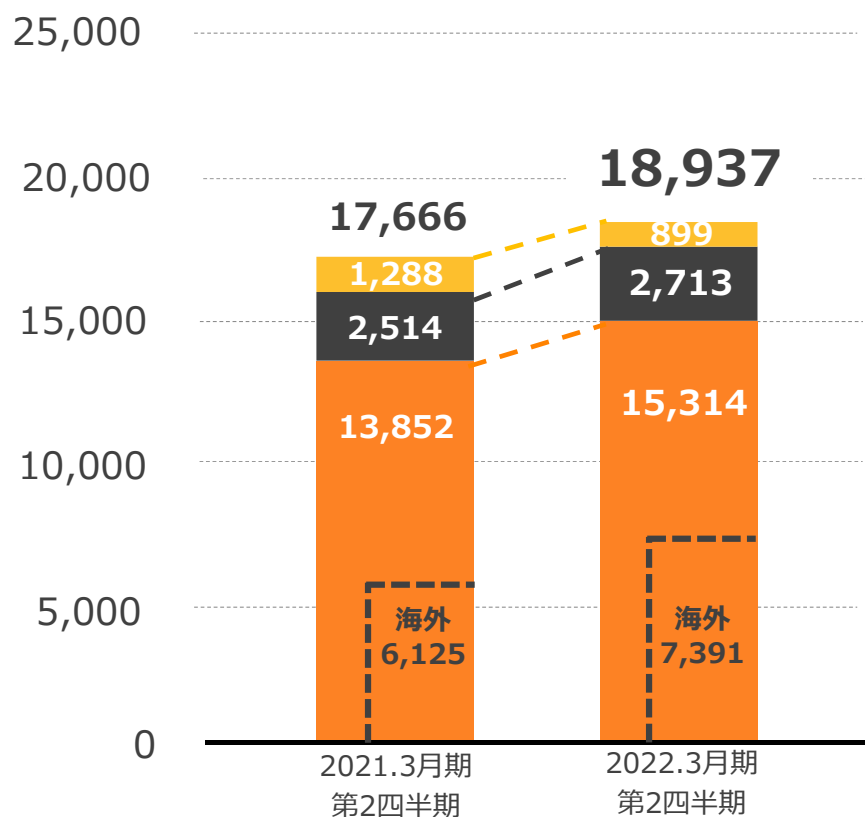


■ 日本
 ■ アジア・パシフィック
 ■ 欧州・中東・アフリカ
 ■ アメリカ
 ■ 中国・東アジア

2022年3月期 第2四半期の業績（製品分野別）

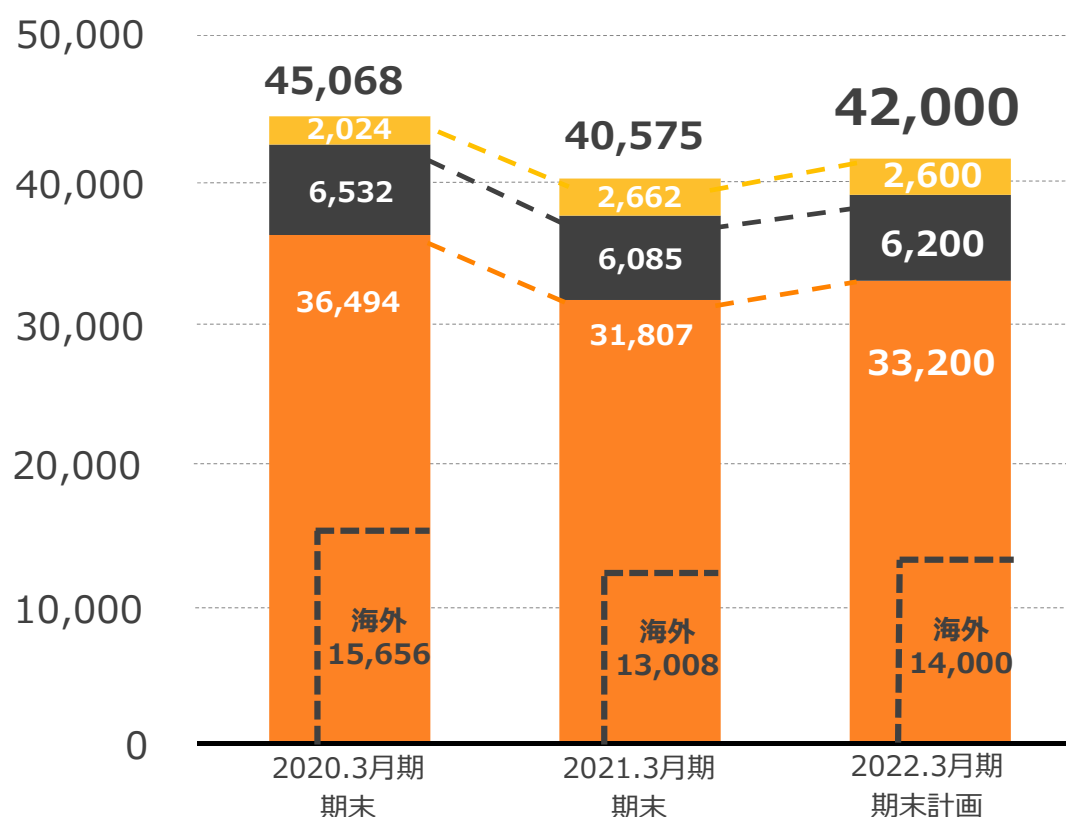
(単位：百万円)

第2四半期 実績



(単位：百万円)

年間数値計画



■ 音響 ■ 映像 ■ 鉄道車両

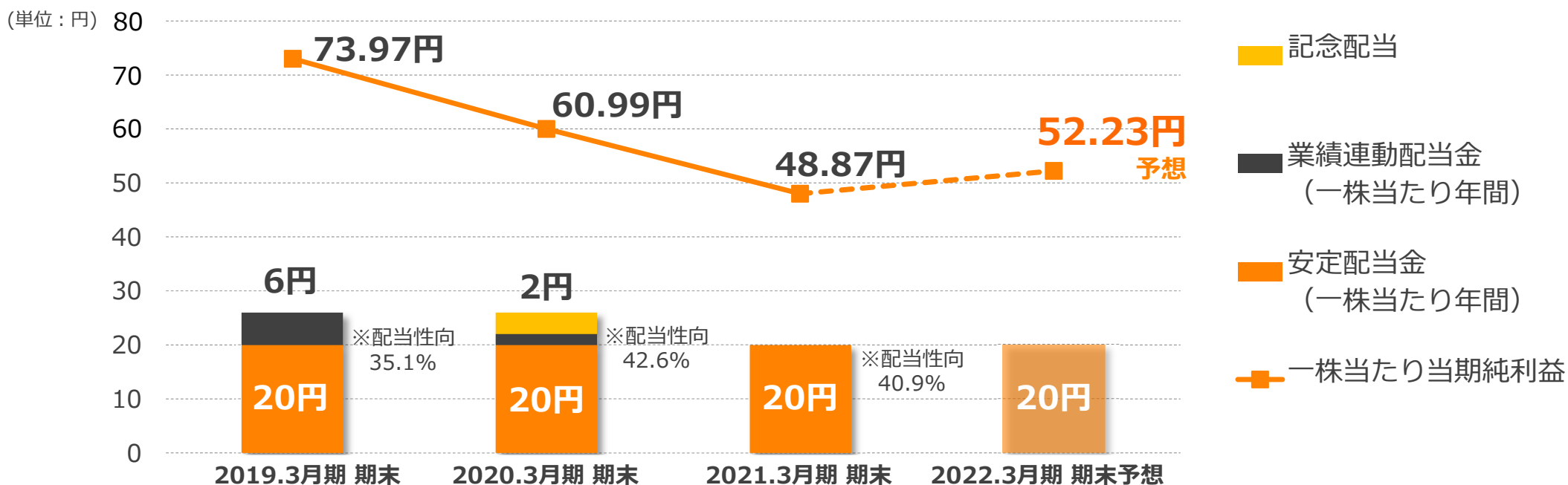
研究開発費・設備投資と減価償却費の推移（連結）

(単位：百万円)	2021.3月期 第2四半期	2022.3月期 第2四半期	増減額(前年比)	2022.3月期 期末計画
研究開発費	1,374	1,284	▲89	3,076
設備投資	1,040	462	▲578	1,522
減価償却費	704	699	▲5	1,475

- 研究開発施設「ナレッジスクエア」への大規模投資は、2021年3月期にて終了
- 現在はデジタル基盤の整備を進める

2022年3月期 予想配当

安定配当20円を維持



配当については、以下の事項を総合的に勘案して決定する方針

- 年間 20 円（中間配当 10 円、期末配当 10 円）の配当を維持。
- 最低額を20円/株とした業績連動配当（35%を目安）の実施。
- 持続的な成長を可能とする内部留保とのバランスを勘案。

補足資料

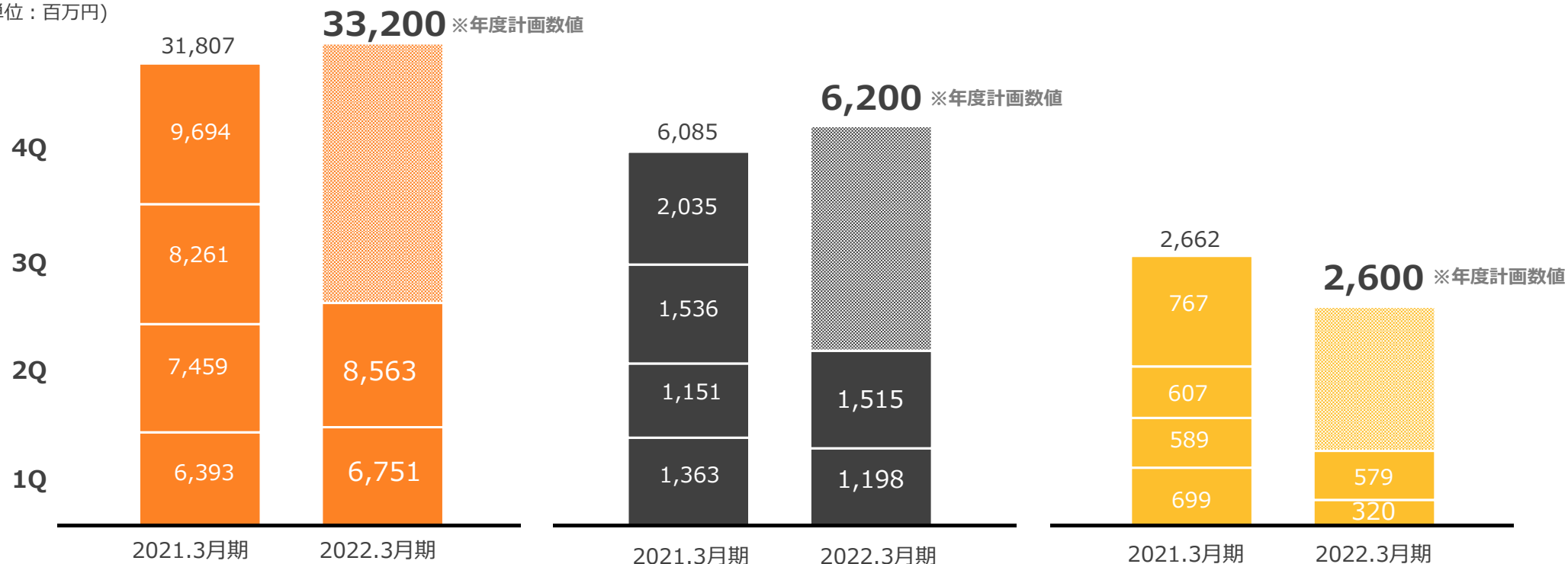
四半期別 売上の推移(分野別)

音響








映像

鉄道車両

(単位：百万円)



国内市場別トピックス

市場	2022年3月期 第2四半期	トピックス
教育		GIGAスクール対応やエアコン整備が一段落し、放送設備・映像機器の販売好調。夏休み案件の引き合いも多く発生。今後も校務支援などの販売増加が見込める
工場		前期に比べ、大型案件が限られ減少 三密回避を目的とした工場運営体制の変更に伴い、放送設備の見直し需要等も発生
商業施設		コロナ禍による影響は底を打ち、設備老朽化に伴う更新需要が高まる 業務効率化やサービス向上などのニーズも生じており、提案を強化する
オフィスビル		コロナによる需要の減少が今期も続く
病院		面会室、手術室、病棟間の感染防止対策を目的としたリニューアル案件の増加
交通インフラ		関西国際空港にてオペレーション機能向上とBCP対策を考慮したソリューションを納入 道路は前期と横ばい、鉄道施設関連は減少
減災防災		前期の設備導入ピークを迎えた反動減となる 補助金の期間延長も受け、今後のリニューアル案件獲得に向けた仕様化に取り組む

- 前期に引き続き、官公庁需要が伸長。

※上記は前年同期比、国内単体実績を参考に記載しております。

